

栗林すみれ
piano

岡部洋一
percussion

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 04月10日(土)

開場 18:30 night live

開演 19:00

(90分1ステージ 小休止有)(1drink=600円~)

MC=3000円 +2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



栗林すみれ

埼玉県立芸術総合高等学校音楽科、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科 ジャズ&ポップスコース卒。2014年 JAZZAUDITORIA にてオープニング・アクトを飾り、その後3回に亘ってブルーノートキーオーに出演。同年、行方均氏のプロデュースでサムシンクルレーベルからデビュー。1stアルバム” TOYS ” がジャズライフ、ジャズジャパンなどに取り上げられ 2014年ディスクグランプリニュースター賞受賞。2015年早くもセカンドアルバム” Travellin' ” をリリース。2017年金澤英明との双頭リーダー作 ” 二重奏 ” をローヴィングスピリッツから発売。2018年、総勢11名参加のアンサンブル作品” Pieces of Color ” とピアノトリオ作品” the Story Behind ” を二ヶ月連続リリース。ジャズライフ誌で表紙、巻頭特集でとりあげられる。同年、Yokohama Calling のプロジェクトに参加、ロンドンのホクストンホールでのリーダー公演が好評を博す。アンドリア(イタリア)でのソロコンサートも行う。トランペッター Niran Dasika とのデュオ、カルテット、また栗林すみれセクステットとしてオーストラリアのジャズフェスティバルに出演。一番印象的だったパフォーマンス (australianbookreview より)、フェスティバルのハイライト (CyberHalides Jazz より)、と評される。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBS プレミアム『美の壺』でオリジナル曲が使用されるなど作曲やアレンジ方面の才能も発揮している。先人への敬意と幅広い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地よく、多くの聴衆の心をつかむ。

岡部洋一

1962年東京都出身。高校時代からパーカッションの演奏を始める。早稲田大学在学中にラテン音楽やロックのサークルに出入りし、プロとしての活動を開始。歌謡曲のバックや、ブラジル音楽、ジャズなど幅広く演奏する。現在はトランスロックバンド「ROVO」や、プログレッシブジャズロックバンド「ボンデー・フルーツ」、16人編成のブラスロックバンド「THE THRILL」のメンバー。2001年、ソロアルバム「SATIATION」をまぼろしの世界からリリース。2006年には、ソロライブアルバム「感覚の地平線」をリリース。主な共演アーティストは溝口肇、佐藤允彦、鈴木良雄、向井滋春、勝井祐二、鬼怒無月、芳垣安洋、小野リサ、Baden Powell、João Donato、ホッピー神山、ショーロ・クラブ、村田陽一、村松健、遠藤律子、中村善郎、福岡ユタカ、酒井俊、中島啓江、アキコ・グレース、木之下真市、菅野よう子、今堀恒雄、納浩一、柏木広樹、木住野佳子、中西敏博、朝崎郁恵、Saigenji、鈴木亜紀、リアナ・エレロ、デビッド・サンボーン、等々。